

原水爆禁止2020年世界大会（オンライン）へのメッセージ

「原水爆禁止2020年世界大会」の開催に当たり、御挨拶を申し上げます。

75年前、広島と長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が犠牲となり、今もなお心身に深い傷を負い、苦悩を抱えている方々のお気持ちを考えると、胸が張り裂ける思いがいたします。

先の大戦により多くのかげがえのない命が失われた沖縄でも、被爆者の皆様と同様に戦争の不条理と残酷さを身をもって体験し、平和の尊さを肌身で感じております。

忌まわしい戦争の記憶を風化させない、再び同じ過ちを繰り返さない、そのため、私たちは、平和を希求する「沖縄のこころ」を世界に発信し、共有することを呼びかけています。

沖縄県は、とこしえに平和を求めてやまない沖縄県民の心を内外に強く、広くアピールするため、平成7年に「非核・平和沖縄県宣言」を行いました。

私たちは、非核三原則を将来にわたって堅持し、平和の大切さを正しく次世代に伝えていくこと、そして、こうした取組による世論の広がりが、非核・平和を訴える大きな力につながるものと考えております。

結びに、核兵器の廃絶に向けた皆様の御尽力に対し深く敬意を表するとともに、この大会が契機となり、世界の人々が手を取り合い、核兵器のない平和で公正な世界の実現に向けた取組が大きく実を結んでいくことを祈念して、御挨拶とさせていただきます。

令和2年7月14日

沖縄県知事 玉城 デニー

原水爆禁止 2020 年世界大会へのメッセージ

破壊や殺戮を繰り返す戦争をなくし、世界の平和を実現することは、人類共通の願いです。

人類の生存を脅かす核兵器の廃絶は全人類共通の大きな課題であり、今後とも唯一の被爆国として核兵器廃絶の潮流を絶やさず、運動に取り組むことは大切なことです。

唯一地上戦の残虐さを知る沖縄県民としても、これからも反戦反核の運動と恒久平和の確立を目指してともに頑張りましょう。

西原町長 上間 明